



2023年度の全学的課題決定とこれまでの課題対応の経過

Ⅰ 2023年度の全学的課題

2023年9月、内部質保証推進委員会にて2023年度の全学的課題が次の2つに決定しました。

「学長のリーダーシップによる教学マネジメント体制の構築」（担当責任者：竹内学長）

「DP・CPとの整合性を高めるシラバスの精緻化」（担当責任者：花井副学長）

全学的課題は今年度より、自己点検・評価の結果から抽出された課題だけでなく、外部評価（裏面参照）の指摘事項も含め内部質保証推進委員会で審議し決定されます。つまり、学内外から挙げられた課題であり、質保証に関する重要な内容です。後者については、現在、2024年度より新しい3つのポリシーの公開とともにシラバス作成の時期に入り、改善対応が進んでいます。DPの達成を意識したシラバスの作成にご協力よろしく申し上げます。

Ⅱ 2022年度の全学的課題対応の経過

2022年度の全学的課題は「IR データを活用した要支援学生への早期対応と要因の分析」（担当責任者：花井副学長）でした。ここで言う「IR (Institutional Research)」とは、学内データを収集・分析し、改善施策を立案、それを実行・検証する、といった、大学の経営改善や学生支援、教育の質向上のための広範囲の活動を指します。

昨年9月の周知から「全学科の現状調査」、「事務系部署へのヒアリング」、「フレッシュマンテスト結果分析サイトの開設」を行うとともに、「各学部長による学びに関する調査ワークショップ」を開催しました。学びに関する調査結果を可視化できるグラフを用い各学部の特徴を分析するこのワークショップは大変盛況であったため時間が足りず、2回に分けての実施となりました。ワークショップで使用したデータは教職員の皆様に12月1日付のメールでご案内しております。学生の動向把握、更にはカリキュラムの見直しなど、学部・学科内のFD活動にもご活用いただけ



学部別、学科別、入学手段別等、様々な条件下の回答を選別し表示することができます。（図は「2021・2022年度集計結果」）



ますので是非一度ご覧になってください。

全学的課題解決には教職員の皆様のFD活動や学生支援に対する意識改善が不可欠です。

今後、大学全体としての改善策を策定するとともに各学部・学科でのデータ活用と支援策を充実させていく予定ですので、各学部・学科からの様々なアイデア提供等、お待ちしております。

「学びに関する調査」で学生から寄せられたアイデアに対して、大学では様々な改善を行っています。学生の皆さんには調査結果と共にこの改善の取り組みを紹介するWebサイトをメールでお知らせしています。皆さんの周りの学生さんの反応はどうか？



自己点検・評価 リニューアルスタート！

2018年度から始まった現在の自己点検・評価体制は今年度で6年目を迎えます。本学は、各組織における詳細な点検を3年に1度だけとする「3年1サイクル方式」で実施しています。

3巡目のスタートとなる本年度に合わせ、事務的負担を減らしつつ、より効率的な改善・向上に繋がる自己点検・評価になるよう、全面的な見直しを行いました。

何が変わった？

一つで完結するシート

「自己点検・評価シート」と「年度別重点目標シート」、「ピアレビュー報告書」の3種類のシートを1つのシートにまとめました。これにより、提出書類の削減、事務作業の軽減、一つのシートで目標・自己分析・他者による評価が確認可能になりました。

必須基準(何について自己点検するか)を厳選

本学で用いている12の基準のうち、社会情勢や本学の現状に鑑み、どの基準に注目すべきかを検討し、教育組織の年度点検およびピアレビューの必須基準を基準4(教育課程・学習成果)、基準5(学生の受け入れ)、基準7(学生支援)の3基準に厳選しました。「3年1サイクル方式」の利点を活かし、メリハリを付け弾力性を持たせることで評価疲れと形骸化を防ぎます。

全学的に取り組む課題をスリム化

別々に対応していた自己点検・評価の課題、外部評価からの指摘事項を内部質保証推進委員会で集約し、全学的に取り組む課題を策定します。

用語の解説

外部評価と第三者評価

人事考課にも自己評価と上長評価があるように、大学の評価にも自身を評価する「自己点検・評価」と学外者による評価「外部評価」があります。この「外部評価」は、評価者の選定や評価項目の設定を大学自身が行うのか第三者が行うかで「外部評価」「第三者評価」の2種類に分けられます。

評価者を誰に依頼し、どの資料を評価してもらうかを本学で決める『中部大学外部評価(旧アドバイザー会議)』は「外部評価」、第三者組織である大学基準協会が定めた評価者が、大学基準協会の基準に沿って評価を行う『認証評価』は「第三者評価」になります。

学外からは何が評価され何を求められるのか。当たり前だと思っていたことが褒められると嬉しいですよね。選ばれる大学になるために、様々な指摘を改善・向上に繋げていきましょう！

「外部評価」「第三者評価」の情報は中部大学 Web サイト「情報公表>中部大学の評価>中部大学の外部評価」に公表されています。
(「中部大学外部評価」は準備中です)
中部大学が受けている外部評価、いくつ知っていますか？



2023年度 外部評価の実施

2023年度より、アドバイザー会議に代わり新たな方式で外部評価(「用語の解説」参照)を行いました。初回の外部評価員は次のお二方にご担当いただきました。

浅野 茂 教授(山形大学 学術研究院 教授)
高坂 栄一 氏(株式会社進研アド 改革支援室室長)

外部評価の流れ

6月 評価書類送付

認証評価資料、自己点検・評価資料、「学びに関する調査」結果、学生便覧等の資料を提供。

外部評価開始です！

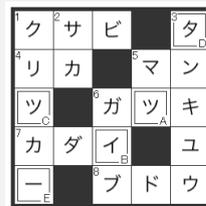
7月 評価員からの質問受領、回答

評価に際し、確認が必要な事項についてご質問いただき、学長・事務局長の了承を経て回答しました。

8月 評価結果受領

新方式による初めての外部評価結果が遂に！
専門家ならではの貴重なご意見をいただきました。

★大学評価クロスワードパズル★



答え A B C D E

第2号の答えは「ツイッター」でした。

☆☆☆ タテのカギ ☆☆☆

[1]	プロペラ機とは異なり、エンジンが生み出す噴流の反作用を推進力として利用する飛行機。
[2]	手に何も持っていないこと、何もつけていないこと。
[3]	成績評価の厳格性の確保、授業外学習の促進、履修登録の上限設定などで図ります。「〇〇の実質化」。
[4]	利用者のサービス向上のため、今年度から名鉄〇〇降車場の運用が一部変更されました。
[6]	初心者。初級者。
[9]	高蔵寺ニュータウンのエリアの一つ。「〇〇成台」。
[10]	目あて。目標。見当。

☆☆☆ ヨコのカギ ☆☆☆

[2]	シアトルで開業した世界的コーヒーチェーン店の日本での略称。
[5]	自己点検・評価を進めるうえで重要なことは、適切な〇〇〇〇を示すことです。
[7]	宿駅。宿場。「東海道五十三〇〇」。
[8]	東京都の行政区域内、特に23区内。
[11]	文章の理解や問題解明の手がかりとなる重要な語句。



発行日 2023年 12月18日

発行 大学企画室 大学評価推進部

内線 2381・2382 (大学企画部 大学評価事務課)

E-mail hyoka@office.chubu.ac.jp

第3号

